

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身やご家族の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 脊椎アライメントと歩行速度の関連性は筋力によって変化するのか：横断研究
	●研究の対象 2024 年の東栄診療所の運動器検診を受診された方のうち、受診時の年齢が 60 歳以上の 232 名
	●研究の目的 いつまでも元気に歩けることは、健康な生活を送る上でとても大切です。実は「歩く速さ」は、将来の病気や入院のリスクを予測する、健康のバロメーターとして注目されています。年を重ねると、背中が丸まったり、体が前かがみになったりするなど、背骨のバランス（姿勢）が変化しやすくなります。こうした姿勢の変化は、歩きにくさや生活の質の低下につながると考えられてきました。 しかし、これまでの研究では「姿勢が悪くなると必ず歩くのが遅くなる」という人ばかりではなく、個人差があることが分かってきました。そこで私たちが注目したのが「筋力」です。筋力がしっかりしていれば、多少姿勢が変化してもカバーできるのではないかと考えたのです。 今回の調査では、地域にお住まいの高齢者の皆様にご協力いただき、「背骨の傾き（姿勢）」と「歩く速さ」がどのように関係しているかを詳しく調べます。 特に、「筋力の強さによって、姿勢が歩行に与える影響が変わるのか」という点に注目しています。「筋力が低い人ほど、姿勢の変化が歩く速さに悪影響を与えやすいのではないかと」という仮説を立て、その仕組みを明らかにすることを目的としています。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から 2027 年 12 月まで

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日 ●他の機関に提供する場合には、その方法 東栄診療所から浜松医科大学にデータの提供が行われます。 提供方法は、CD-R を郵送します。データには個人を特定できる情報は含まれません。特定の個人を照合するための情報は、提供元で保管・管理します。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	●研究に使用する試料・情報 ○患者背景：年齢、性別、身長、体重、BMI ○アンケート調査：腰痛・膝痛の有無（3 か月以上継続する疼痛でNRS4以上をありとする）、身体活動性の評価（J-CHS 基準） ○運動機能検査：膝伸展筋力（ロコモスキャンを使用） ○画像検査：立位全脊柱側面像
《利用する者の範囲》	●機関名および責任者名 研究機関： 浜松医科大学医学部附属病院 診療助教 井出浩一郎 既存試料・情報の提供を行う機関： 東栄診療所 丹羽美和子
《外国にある者に対する試料・情報の提供》	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	国立大学法人浜松医科大学
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

《資料の入手 または閲覧》	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
《情報の開示 》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
《問い合わせ 先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 整形外科学講座 担当者： 井出浩一郎 TEL： 053-435-2299